

佐倉市議会だより



2022年11月1日
（令和4年）

発行：佐倉市議会 編集：広報公聴委員会 〒285-8501 佐倉市海隣寺町97番地 TEL 043-484-6254 FAX 043-486-2508
佐倉市ホームページ <https://www.city.sakura.lg.jp/> メールアドレス gikai@city.sakura.lg.jp



現地視察

明神橋（6-108号線）災害復旧工事 -市内西御門-

令和3年度中も継続した、令和元年10月の豪雨による明神橋の橋台付近斜面崩落災害に伴う復旧工事について、決算審査特別委員会が現地視察を行いました。担当部署から説明を受けながら、工事箇所などを視察しました。



橋下の調整池から工事箇所を確認



災害直後の状況（令和元年10月）



8月定例会

会期 8月29日～9月28日

令和3年度決算・ 令和4年度補正予算など 25議案を認定・可決・同意

佐倉市議会は、8月29日から9月28日までの31日間にわたり、令和4年8月定例会を開催しました。
今定例会では、市長から「令和3年度佐倉市一般会計歳入歳出決算の認定について」や「令和4年度佐倉市一般会計補正予算」など議案25件が提出され、審議しました。※議案の詳細は、5ページ・8ページに掲載しています。
議員提出議案については、「地方の農地の保全と活用のための支援拡充を求める意見書」など6件がそれぞれ提出され、審議しました。
また、一般質問には、各会派の代表質問に6人、個人質問に6人が登壇し、市政について広範囲の質問を行いました。

決算審査特別委員会を設置

令和3年度の各会計の決算審査を行うため、決算審査特別委員会を設置しました。同委員会は、4日間にわたり担当部課長などから説明を受け、慎重に審査を行いました。定例会最終日には、平野裕子委員長から審査結果報告があり、次の4点について要望しました。

決算審査特別委員会での意見・要望

- 1 少子高齢化が加速する中、医療や福祉、介護などにかかる扶助費に多額の財政需要が見込まれることから、経費縮減や自主財源の確保など、財政健全化に努めていただきたい。
- 2 市民生活の基盤である道路や公園などインフラ整備を着実に進め、住み続けられるまちづくりの実現と併せ、観光Wコア構想^{*1}の推進により、魅力あるまちづくりを進めていただきたい。
- 3 DX^{*2}の推進は、多様化・高度化する市民ニーズへの対応に必要不可欠であり、その環境整備を先行して進めていることを高く評価する。さらなる市民の利便性向上のため、デジタル技術の積極的な活用等、全庁を挙げて取り組んでいただきたい。
- 4 重大な事務処理誤りの再発を防止するためには、法令等の知識や理解を深めることはもとより、常に、市職員としての使命感や危機意識をもって職務に当たることが肝要である。コンプライアンス等の研修を十分に実施するとともに、職員の意識啓発や心身のケアにも配慮することにより組織力を高め、市民の信頼回復に努めていただきたい。



決算審査特別委員会委員 ◎委員長 ○副委員長
木崎俊行、石井秀明、齋藤寛之、岡野敦、密本成章、為田浩
川口絵未、齋藤明美、◎平野裕子、○久野妙子、鍋田達子、宇田実生子

【令和3年度会計別決算の状況】

※会計名の丸数字は議案番号

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
① 一般会計	590億7,914万6,920円	557億7,202万3,950円	33億 712万2,970円
② 国民健康保険	181億7,033万5,396円	181億6,260万3,395円	773万2,001円
③ 公共用地取得事業	313万2,677円	313万2,677円	0円
④ 農業集落排水事業	1,615万7,350円	1,615万7,350円	0円
⑤ 介護保険	133億5,801万8,293円	131億4,929万5,167円	2億 872万3,126円
⑥ 災害共済事業	494万8,520円	79万4,540円	415万3,980円
⑦ 後期高齢者医療	27億7,079万4,596円	27億6,293万2,096円	786万2,500円
会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
⑧ 水道事業	38億3,406万2,153円	36億7,863万4,205円	1億5,542万7,948円
⑨ 下水道事業	38億9,606万6,300円	33億 596万3,450円	5億9,010万2,850円

用語解説 ※1 観光Wコア構想 印旛沼周辺と城下町地区を佐倉市の観光の核として位置づける観光ランドデザインの基本理念
※2 DX デジタル技術を用いた変革（トランスフォーメーション）のこと

市政に関する

一般質問

8月定例会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一般質問は質問時間を短縮し、9月5日から9月8日までの4日間行いました。市政に対し活発な議論が展開されましたので、その一部を掲載します。

詳細については、市役所1号館2階市政資料室・市内各図書館にて会議録（11月下旬発行予定）の閲覧、または、佐倉市議会ホームページの会議録検索システム（11月下旬配信予定）からご覧いただけます。

一般質問通告要旨

代表質問 ※は答弁時間含み80分、それ以外は40分。（ ）内は会派名

- 代表質問 齋藤明美 (さくら会) ※
1市長の政治姿勢 6当面の課題
2新型コロナウイルス感染症対策
3安全・安心のまちづくり
4地域活性化
5印旛広域水道と県営水道の統合について
徳永由美子 (自由民主さくら) ※
1オーガニックビレッジの進捗と学校給食について
2市内中小企業への支援について
3佐倉市環境基本計画と低炭素社会の実現について
4就学時の課題
5妊娠期からの子育て支援 6官民連携について
押木孝和 (公明党) ※
1健康で暮らしやすいまちづくりについて
2新型コロナウイルス感染症対策について
3ゼロカーボンシティの実現について
4安心・安全のまちづくりについて
松島梢 (市民ネットワーク)
1新型コロナウイルス感染症対策について
2有機農業について 3子どものための施策について
木崎俊行 (日本共産党)
1学校給食費の軽減、無料化を
2コロナ感染症の収束に向けて 3生活道路の充実を
藤崎良次 (ひまわり会と市民オンブズマン)
1市長の政治姿勢 3消防団について
2交付金手続きミスについて 4入札及び契約について

個人質問

- 萩原陽子 (日本共産党)
1図書館表示のない「夢咲くら館」について
2脱炭素化促進事業について
3重要性を増す食料自給向上のために
稲田敏昭
1安倍元総理の国葬について
2臨時交付金の事務的な誤りについて
3給食費の無償化について
4宅地造成工事規制区域内工事について
玉城清剛
1まちづくりについて
宇田実生子 (ひまわり会と市民オンブズマン)
1令和3年度新型コロナ対策費交付金返還について
2令和4年7月10日執行参議院議員選挙について
3高齢者・妊産婦・子育て世代等への福祉サービスの充実
川口絵未 (市民ネットワーク)
1新佐倉図書館について 2公園・観光施設について
五十嵐智美 (市民ネットワーク)
1高齢者の生活を支える介護保険制度について
2住宅政策について 3適正な事務執行のあり方について
◎上記の通告内容は、質問者から議長に文書で通告のあった内容に従い、大項目のみ掲載しています。

代表質問



令和3年度決算について

市長の評価を伺う。

問 ワクチン接種など新型コロナウイルス感染症対策のほかに、交通安全施設整備事業等、進めるべき施策を着実に実施した。経常収支比率が改善した一方、経常的支出が増加し、財政の硬直化も進んでいることから引き続き、持続可能な財政運営に取り組んでいく。実質単年度収支2年連続黒字となった要因を伺う。
答 見込みを超える地方税の収入があったことや、国の補正予算に基づく普通交付税の大幅な増額等によるものと考える。
新型コロナウイルス感染症対策について

オミクロン株対応ワクチンに係る接種体制を伺う。

問 現在、接種券やコールセンター等の準備を進めるとともに、医師会や医療機関と連携して、新たな接種体制の構築を図っている。コロナ禍における生活困窮者支援について

問 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業及び市独自事業である住民税均等割のみ課税世帯への応援金給付事業の進捗状況等を伺う。
答 住民税非課税世帯等臨時特別給付金については、令和3年度の対象として、8月末までに1万4572世帯に支給。令和4年度は2059世帯に確認書を送付し、8月末までに1207件に支給している。なお、未支給世帯には、4月と8月に勧奨文書を送付しており、引き続き、市民周知に

努力、支給につなげていく。住民税均等割のみ課税世帯応援金では、2327世帯に対し、支給要件確認書を送付した。9月中旬に支給開始の見込みである。

問 障害福祉の推進について
答 障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法施行に対する市長の見解を伺う。
問 法施行により、情報取得に係る施策が推進され、障害者の安全、安心や社会参加が前進するものと期待する。支援の充実を図り、市民の理解周知に努めたい。
問 これまでの取り組みと現状課題について伺う。
答 携帯用会話補助装置など福祉機器の支給や、手話通訳者、要約筆記者の派遣などを行ってきた。障害者への情報伝達には、さらなる工夫と配慮が必要であり、関係機関等と連携した施策

の充実が求められている。今後、どのように施策を推進していくのか伺う。
問 障害者や関係団体の意向、国や県の施策との整合性、事業者の動向を注視し、効果的な施策となるよう推進していきたい。
佐倉平和使節団について
問 事業の成果、効果について伺う。
答 中学生を広島に派遣し、被爆者講話の聴講や平和祈念資料館の見学など現地ではか得られない貴重な体験を重ねてもらった。視察終盤には、戦争の悲惨さ、平和の尊さを参加者自らが考え、意見を発表する姿があり、事業目的は達成できたものと考える。国際紛争が起る今、本事業の再開は極めて大きな意義がある。

オーガニックビレッジの進捗と学校給食について

問 有機農業の安定経営のために学校給食への導入が不可欠であり、教育委員会が積極的な協力体制を示すべきではないか。
答 学校給食は継続した消費先の一つと認識している。
問 佐倉市は有機野菜農家も多くいるため、野菜での先進事例として中規模校での計画栽培モデル事例が必要ではないか。
答 有機米とともに有機野菜も進めていきたい。計画栽培も試行的取り組みの中で検証していく。
問 学校給食に導入することで日常の有機野菜購入へつなげる必要がある。保護者や地域住民の援農で生産段階に関われば広報にもつ

ながら新規就農による定住促進にも効果的ではないか。
答 援農などによる有機農業に対する理解の醸成や有機農産物販売の促進など生産者と地域住民の関わりを取り組んでいく。
問 オーガニックビレッジは、学校給食への有機食材導入による新たなコミュニティづくりと新規就農による定住促進、佐倉産の農産物に対する新たな付加価値を生み出すプロジェクトで、ゼロカーボンシティに向けて農業分野での環境負荷を低減する取り組みでもあるため、多くの市民と今後議論を進めていきたい。
異業種交流
問 農業と商工の連携を推進し、農家と飲食店などの異業種交流から事業創出につなげるのでは。
答 農業と商工業との連携は極めて重要であるため、

新たな事業を生み出していきけるよう支援していく。

再生可能エネルギーの導入
2050年を見据えた再生可能エネルギー導入の具体的な目標値や実施計画などが必要ではないか。

答 一般家庭や事業者、公共施設等における導入促進についても、目標値の設定や進捗管理の方法なども含め様々な角度から検討する。

問 PPA事業は初期費用不要で指定避難所を中心に再生可能エネルギーを導入できる。学校の温室効果ガスの排出抑制と災害時の電力確保を同時に実現することができると、導入の検討をするべきではないか。

答 公共施設再配置の検討と併せ、再生可能エネルギーの導入に取り組んでいく。

問 ガソリン庁用車も削減目標を明確にしていく必要があるのではないか。

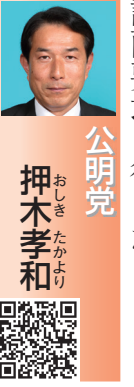
答 電動車について可能な限り早期導入に努めていく。

制服のジェンダーレス化
問 現在の個別対応でなく、性別やLGBTQに関係なく、全ての生徒がスカートかストラップスかを選択できることが理想ではないか。

答 制服選択制の導入を視野に入れ、学校と連携を図りながら推進していく。

学校看護師の配置について
問 学校に在籍する医療的ケア児が、保護者の付き添いがなくても適切な医療的ケアの支援を受けられるよう、学校看護師の予算措置をするべきではないか。

答 次年度に配置をするための予算確保に向けて実施計画要求を行った。



子ども医療費助成制度の拡充について

問 佐倉市では現在、様々な子育て施策に取り組んでおり、その一つとして、子ども医療費助成制度がなされ、中学3年生まで、通院・入院ともに自己負担が1回（入院1日）200円となっている。充実した子育て環境を考えていく上で、高校3年生まで医療費助成を拡充する考えについて伺う。また、財政負担の推計はいくらぐらいになるのか併せて伺う。

答 人口減少、少子高齢化対策に資する施策と期待できることから、実施に向けて検討するよう指示している。財政負担は、約8700万円の増額となり、年間およそ5億8千万円の助成額を見込んでいます。

男性用個室トイレのサンタリーボックスの設置について

問 高齢の男性を中心に、前立腺がんや膀胱がんを患う方が増えている。医療によって治っても頻尿、尿漏れなどの症状が残る場合が多く、尿漏れパットを着用されることが多いが、現在男性用個室トイレには、ごみ箱の設置がほとんどされていない。尿漏れパット等が捨てられるごみ箱、サニ

タリーボックスをまず市の施設から設置すべきと考えますが、市の考えを伺う。

答 大半の男性トイレにサンタリーボックスが未配備なことを踏まえると不自由を感じている方が少なからずいると推察している。

問 今後本庁舎の男性用トイレの一部にサンタリーボックスを試行的に設置し、利用状況の把握に努めていく。さらに市内公共施設への設置拡大を図るとともに、市による率先垂範行動を通して、民間施設への設置機運が高まるよう関係所屬と連携し、取り組んでいく。**ゼロカーボンシティの実現について**

問 昨年6月議会で、公明党の提案を受け8月に佐倉市は「ゼロカーボンシティ宣言」を行った。その具体的な取り組みの一環として、公明党が提案したマイボトル用給水機が夏場に合わせ設置された。どのような機能の給水機が公共施設に設置されたのか伺う。

答 今回設置した給水機には、残留塩素等を除去し、水本来のおいしさを味わえるフィルターが装着されている。また給水する水は、水道水を利用、その安全性は十分確保されている。

道路陥没事故防止について
問 佐倉市で起こった道路陥没は、何件発生したのか伺う。

答 令和3年度に12件、令和4年度は8月末現在で7件発生している。

問 市の危機管理、防災減災対策としても、道路下の空洞調査は必要である。高解像度センサーを搭載した車を利用した調査点検を提案していたが、どのようなになっているのか伺う。

答 市街地内の埋設管が多く敷設されている幹線道路で、舗装打ち換えなどの大規模修繕工事を実施する前に、国の交付金など財源を確保して、先行して実施できると検討している。



新型コロナウイルス感染症
問 市内8月の感染者数は過去最多の5223人。医療機関の逼迫により、自己判断で自宅療養せざるを得ない感染者について、市は把握しているか。どのような相談が寄せられているか。

答 感染者の急増に伴い、医療機関の予約が取りにくい状況は把握している。

問 市内17の医療機関が発熱外来として公表。非公表の医療機関へ公表するよう、交渉等新たに増やすための取り組みはあるか。

答 公表の依頼は、県が医療体制を鑑みた上で実施。今の体制だと、発熱しても医療機関に何度電話してもつながらず、診てもらえない市民がたくさんいる。

問 医療機関が逼迫しないようにすることが市の役割。

野田市や浦安市は、陽性者登録センターの開設や抗原検査キット配布等独自の取り組みを行っているが、市で実施の予定はない。有機農業について

問 市は、国が支援する有機農業に取り組み自治体として、今年度末に「オーガニックビレッジ宣言」を予定。今後の取り組みは。

答 年度末に、有機農業実施計画を策定する予定。

問 学校給食について積極的に進めてほしいがどうか。

答 多くの課題がある。協力して取り組んでいく。**子どもの権利条例について**

問 西田市長は、子どもの権利を保障するための条例制定を公約に掲げているが、進捗はどうか。

答 佐倉市全体の状況を見極め、今後判断していく。

学校給食の無償化・軽減
問 教育長も答弁したとおり学校給食は立派な授業教材。憲法に「義務教育はこれを無償とする」とある。完全無償化を目指すべきだ。

答 学校給食法及び同施行令に基づき、食材費は保護者負担。給食費の無償化は、千葉県の実施する多子世帯への給食費無償化について検討するが、完全無償化は、現在検討予定はない。

問 報道によると、千葉県は「3人目以降無償化のために希望する市町村に半分補助を提案予定」市川市は、来々4月から、県内1市8町で、完全無償化。文科省は緊急経済対策の財源を給

食費の保護者負担減へと通達。財源について、以前の市議会でも、学校給食費3人目以降の児童生徒から半額にした場合、年間1379万円と答弁。全額だと2758万円。今年度3人目以降無償化だと概算いくらになるか。図書館建設や今後発生するWコア構想による土木費の増加を考えると、ささやかな出費。各年度の決算、財政調整基金の積立金は、約10億円。軽減策がないのは不思議なくらいだ。

問 千葉県が実施検討の補助給付対象者と合致するか。現段階ではわかりかねる。具体的な金額は、控える。

問 保健所も市内のみ、発熱外来はつながらず。共に悩み「ここに治療から放置されている私がいる」それを受け止める拡充が必要。

問 市でも相談窓口を健康管理センターに設置している。

ひまわり会と市民オンブズマン
藤崎良次
問 昨年3月2日「繰越手続を佐倉市は行わないことではないか」と親切的な質問が県から来た。しかし、県への回答記録が無いが、

県に対する回答は、到達したと認識をしている。

問 回答は確認できていない。なぜ認識できなかったのか。

答 回答していなければ、再確認がされると考える。

問 送信されたか、その内容も把握できていない。最終報告にも、回答記録が無いことが書かれていないが、

答 この返信に係るメールについては、残っていない。介護保険も回答記録が無い。

問 介護保険の交付金のミスについても、県から親切なチェック依頼が来た。佐倉市だけが前年度との差がゼロという数値だ。これも県への回答記録は見つからず回答したか否かも不明だ。

答 市から回答したことは間違いなく考えている。

問 回答不明のものに、回答したと考えるとのことであり、大いに反省を求める。県からの親切なチェック依頼に対し佐倉市では非常に雑に扱っているようである。

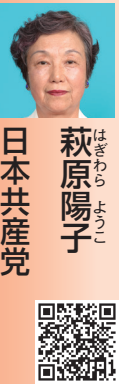
答 今回の事務処理誤りの反省から、送信メールの適正な保存を行うよう全庁的なルールの整備を現在進めているところである。

問 金額の条件を入れるなどして、効率よく合議の機能を果たすよう工夫すべきだ。今回の2件に関して、合議があればミスがかなり防げたと思うが、行われず非常に残念である。

問 財政部との合議が必要だ。

答 金額の条件を入れるなどして、効率よく合議の機能を果たすよう工夫すべきだ。今回の2件に関して、合議があればミスがかなり防げたと思うが、行われず非常に残念である。

個人質問



問 図書館表示ない夢咲くら館が11項目も公表されたが、避難口は何か所になるか。

答 屋外に直接出られる避難口は15か所変更ない。幼児や高齢者、障害者等、災害弱者の避難確保について対策はあるか。

答 消防計画を作成し避難誘導訓練等を実施していく。

問 地盤沈下防止のための仕様変更の内容を聞く。

答 埋め戻しに使う土を施工性のよい処理土に変更。

問 費用の発生は無いか。

答 受注者提案による変更のため、金額の変更はない。

問 受注者前田建設は福島第一原発の除染作業元請で、手抜き除染が報道された。

答 除染作業に問題があったとの報道は承知している。埋め戻しに使った土の検査は行ったか。

答 第三者機関による試験成績書により確認している。

問 市長は、土の変更許可を知っていたか。

答 変更契約を結ぶ場合は、市長まで報告している。

問 重大な変更だ。市民の安全に責任をもてるか。

答 安全管理に徹している。

問 図書館運営に市民意見をとり入れるよう要望する。重要性を増す食料自給向上

問 農地と農業人口を減らさないための支援内容は、

答 担い手集約や農業生産基盤の整備、新規就農者や農業資機材等の支援を行う。

問 政府は有機農業の拡大を推進するが、市の有機農業推進体制と計画の進捗は、

答 検討部会を組織し、セミナーの開催や学校給食への活用などに取り組む。

問 安倍元総理の国葬について法的根拠がない、国会での議論もない、本来大災害や不測の事態に対応するための予備費を使い国葬を行うことについて西田市長の見解を伺う。

答 国のしかるべき場で協議される事案で見解を述べた立場ではない。

問 弔意行動をしなかった学校、教職員や子どもたちペナルティーはあるか。

答 校長や教職員への懲戒処分は任命権者である千葉県教育委員会所管なので、佐倉市教育委員会として答える立場にはない。

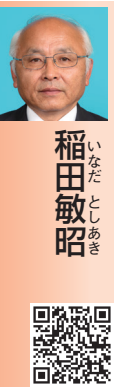
問 主体的に考えを示してもらいたい。

問 給食費の無償化について千葉県は、9月議会で公立小中学校の第3子以降の給食費の無償化を提案している。これを機会に佐倉市も給食費無償化を検討する考えはあるか。

答 千葉県が検討している多子世帯への無償化については、内容が示され次第、検討を進める。

問 宅地造成工事規制区域内工事について

答 岩名地区で造成工事が行われている。崖が雨で一部えぐられ、屋根材に使用された鉄板など残材が放置された状態。台風や豪雨などで近隣に被害を及ぼしかねない。業者へ強い指導をお願いしたい。



問 現在、適切な維持管理を行うよう指導している。

問 許可や届出が不要でも危険や不安を及ぼす可能性がある。市民からの問い合わせには丁寧な説明と対応、業者への指導をお願いする。

問 まちづくりについて

問 市総合計画のまちづくりの基本方針には、「ともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち」とある。具体的な実施及び市民への啓発について伺う。

答 民生委員等の活動支援や、介護予防普及啓発事業などの取り組みを実施。HPや広報で啓発している。

問 西志津多目的広場内で夏休みに三世代交流の早朝ラジオ体操を実施。自ら健康づくりができる活動を推進するとあるが、具体的な実施例を伺う。

答 各種検診、健康相談、出前講座などで啓発を実施。

問 市民協働にボランティア活動は不可欠。市民活動を支援し支え合うまちづくりを推進する具体的方策は、

答 市民公益活動サポートセンターにおいて、ICTの活用やポスター作成講座等の支援を企画している。

問 通学路緊急安全対策の進捗状況について伺う。

答 78か所中49か所は改善。今年度中に完了予定。

問 スクールガードボランティア活動拡充の方策は、

答 こうほう佐倉や学校だ



よりで募集している。

問 京成4号踏切付近の雨降り時の登校は、事故発生の要因が潜んでいる。市の見解を伺う。

答 十分に幅員が取れない地域で見守りを願いたい。

問 答弁になっていない。教育長の見解は、

答 学校と連携し、保護者の意向も調査して取り組む。

問 事故が発生した場合、想定外でしたとならないよう危険予知対策を願いたい。

問 県で当市のみミスでコロナ交付金約5億3千万返還

問 コロナ対策費は国の交付金によって賄われるところ、当市では自ら負担せざるを得ない状況に陥った。市長、副市長以下担当職員給料約264万円減額での幕引きに、多くの市民が納得しているとは思えない。当市のほかに、翌債繰り越しミスにより、国へ返還した自治体の事例はあるか。

答 千葉県内ではない。

問 事務処理誤りによる介護給付費約7千万円の過少交付のうち10分の7が追加交付される見込み。返還したコロナ交付金も、継続した国への要望が義務では、

答 既に国会で決算も承認された。同制度の枠組みの中で再交付等の要望は困難。

問 市民への説明会などを実施しない理由を伺う。

答 3月臨時議会、記者会見などで心からおわび申し上げたところ。事務処理誤りの内容、経緯、再発防止対策の詳細は、市HPや広報でお知らせしている。

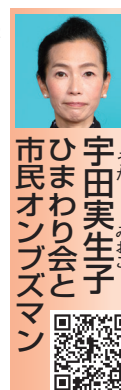
問 投票立会人の60代以上93% 公募登録制度確立を求める

問 佐倉市の選挙における投票立会人の性別、年齢構成、その比率と日当を伺う。

答 男性37%、女性63%。20代、30代0%、40代、50代7%、60代以上93%。日当は、期日前投票9千6百円、当日投票1万9百円。

問 当市に公募登録制度がない。高校生を公募することとは、若年層への選挙時啓発として有効と考える。

答 高校生を含め若い世代への公募を近隣自治体の実施事例などを参考に研究する。



問 新佐倉図書館「夢咲くら館」新町通りの門は歩道が狭く危険で見通しも悪い。歩行者や車の安全を優先するならばあのようなデザインにしないのではないか。

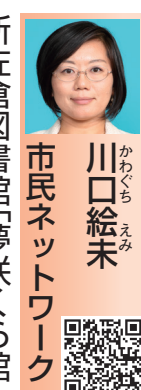
答 各種技術基準を準拠して設計している。

問 避難の際キャノピー横を通るが地震の際の想定は、

答 安全基準を1・25倍にし震度6強から7程度でも大きな補修なく使用できる等の目標を満たしている。

問 図書館運営に市民参加を呼びかける予定はあるか。

答 青少年向けコーナーは、意見を取り入れる予定。それ以外の年代は、現在のところ予定ない。



上げたところ。事務処理誤りの内容、経緯、再発防止対策の詳細は、市HPや広報でお知らせしている。

問 投票立会人の60代以上93% 公募登録制度確立を求める

問 佐倉市の選挙における投票立会人の性別、年齢構成、その比率と日当を伺う。

答 男性37%、女性63%。20代、30代0%、40代、50代7%、60代以上93%。日当は、期日前投票9千6百円、当日投票1万9百円。

問 当市に公募登録制度がない。高校生を公募することとは、若年層への選挙時啓発として有効と考える。

答 高校生を含め若い世代への公募を近隣自治体の実施事例などを参考に研究する。

問 新佐倉図書館「夢咲くら館」新町通りの門は歩道が狭く危険で見通しも悪い。歩行者や車の安全を優先するならばあのようなデザインにしないのではないか。

答 各種技術基準を準拠して設計している。

問 避難の際キャノピー横を通るが地震の際の想定は、

答 安全基準を1・25倍にし震度6強から7程度でも大きな補修なく使用できる等の目標を満たしている。

問 図書館運営に市民参加を呼びかける予定はあるか。

答 青少年向けコーナーは、意見を取り入れる予定。それ以外の年代は、現在のところ予定ない。



ふるさと広場拡張整備

試算では、事業者が建てる施設の建設費は約5億円... 市の負担はないが、通年型の庭の整備約5億円と駐車場整備費約1億5千万円の9割は市の支出...

有料化は決定ではない。市民意見をいかした公園を多額の資金を投じる拡張計画を市民は望んでいる...

改めて市民意見を広く募集し取り入れた計画にするべき。意見聴取の予定は...

今後、意見聴取の方法などについて検討する。早い段階での反映を。既存施設の整備にシフトを...

ふるさと広場拡張より、草ぶえの丘など既存施設の改良にシフトすべきでは。ふるさと広場の魅力を高める整備を進めるとともに、周辺観光施設の修繕や景観整備も併せて進める。

ふるさと広場拡張より、草ぶえの丘など既存施設の改良にシフトすべきでは。ふるさと広場の魅力を高める整備を進めるとともに、周辺観光施設の修繕や景観整備も併せて進める。

ふるさと広場の魅力を高める整備を進めるとともに、周辺観光施設の修繕や景観整備も併せて進める。

ふるさと広場の魅力を高める整備を進めるとともに、周辺観光施設の修繕や景観整備も併せて進める。

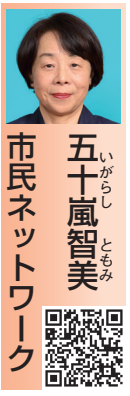
ふるさと広場の魅力を高める整備を進めるとともに、周辺観光施設の修繕や景観整備も併せて進める。

ふるさと広場の魅力を高める整備を進めるとともに、周辺観光施設の修繕や景観整備も併せて進める。

ふるさと広場の魅力を高める整備を進めるとともに、周辺観光施設の修繕や景観整備も併せて進める。

ふるさと広場の魅力を高める整備を進めるとともに、周辺観光施設の修繕や景観整備も併せて進める。

ふるさと広場の魅力を高める整備を進めるとともに、周辺観光施設の修繕や景観整備も併せて進める。



五十嵐智美 市民ネットワーク

介護サービス利用について 国は介護サービス利用者の自己負担1割を2割に拡大しようとしている...

国は介護サービス利用者の自己負担1割を2割に拡大しようとしている...

国は介護サービス利用者の自己負担1割を2割に拡大しようとしている...

国は介護サービス利用者の自己負担1割を2割に拡大しようとしている...

険が利用できない状況をつくってしまうこと自体が問題...

値上げに反対という意見を出してほしいがどうか。全国市長会等に意見を提出し、根本的なことを変えていくのは重要と考える。

空き家の活用について 空き家を貸したい所有者と借りたい団体を市がマッチングする取り組みは...

相談者の状況を把握しながら対応していきたい。コロナ交付金の返還問題と事務誤り等の今後の防止策...

コロナ交付金の返還問題と事務誤り等の今後の防止策 コロナ交付金の返還問題等の再発防止策として複数人によるチェック体制の強化などが列挙され、主担と副担当制も言われている...

ここが肝になると考えるが、人員を増やさず対応するという矛盾する体制で方向性が見えないがどうか。

全庁的、横断的な応援で、適切に事務処理をする。職員体制は根幹に関わるので、しっかりと対応を...

最終報告書まで職員だけで検討を続けてきたが、十分に検証されたか疑問。第三者の弁護士や専門家等を入れた評価機関が必要。

監査制度と連携しながら対策の実効性を担保する。

用語解説 ※オーガニックビレッジ 有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者のみならず事業者や地域内外の住民を巻き込んだ地域ぐるみの取り組みを進める市町村のことをい、農林水産省は、先進的なモデル地区を順次創出し、横展開を図っている。

主な議案の概要

市長から提出された議案のうち、議案第1号〜第9号は令和3年度の一般会計、各特別会計、公営企業会計の決算の認定、議案第10号〜第13号は令和4年度の各会計の補正予算、議案第14号〜第21号は条例の制定、議案第22号は損害賠償の額の決定及び和解、議案第23号は規約の一部改正に関する協議、議案第24号は教育長の任命、議案第25号は教育委員会委員の任命に関する議案です。

議案第10号 令和4年度佐倉市一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ23億7814万1千円を増額するもので、補正後の予算総額は、554億9709万4千円。歳入の主なものは、地方特例交付金、地方交付税、国庫支出金、県支出金、繰越金の増額。繰入金、市債の減額。

歳出の主なものは、繰越金の財政調整基金への積み立て、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当する行政情報化推進事業(コロナ対策分)、保健センター整備事業(コロナ対策分)、肥料価格高騰緊急対策事業などに係る事業費、住民情報システム整備事業、原油価格等の高騰に伴う光熱水費対応に係る事業費、国庫支出金等返還経費の増額、生活道路整備事業に係る事業費、明神橋(6-1108号線)災害復旧費の減額。

継続費の補正は、明神橋(6-1108号線)災害復旧事業の変更。債務負担行為の補正は、納税通知書等帳票類印刷(軽自動車税分)ほか7件の追加。地方債の補正は、民間保育園等施設整備事業債の追加、臨時財政対策債ほか1件を変更。

議案第14号 佐倉市議会議員及び佐倉市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について

公職選挙法施行令の改正を踏まえ、また、最近における物価の変動等に鑑み、佐倉市議会議員及び佐倉市長の選挙における選挙運動の公費負担の限度額を引き上げるもの。

議案第20号 佐倉市休日夜間急病診療所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

佐倉市休日夜間急病診療所における歯科診療について、休日等に診療を行う歯科医院の増加並びに同診療所における歯科診療の受診者数の減少及び診療に要する機器等の老朽化を踏まえ、これを廃止するもの。

議案第24号 教育長の任命について

圓城寺一雄(えんじょうじ・かずお)氏の任期満了(令和4年10月1日付け)に伴い、同氏を教育長として再度任命することについて議会の同意を求めもの。

任期 令和4年10月2日から令和7年10月1日まで

議案を解説

議案第10号より 国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業です

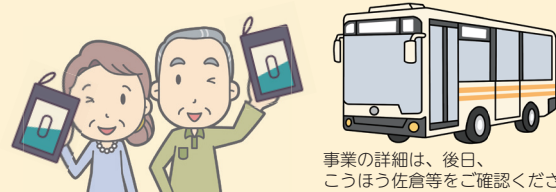
市内農業者を支援するための 肥料価格高騰緊急対策事業 (事業費7,875万円)

農業経営者の負担軽減を図り、持続可能な生産体制づくりにつなげるため、コロナ禍で物価高騰(肥料)の影響を受けた市内販売農家(農業法人を含む)を対象に、令和3年度分の確定申告額(肥料費)の15%を支援します。



公共交通継続支援事業(事業費605万3千円)

高齢者向け定額乗車パス等の割引販売をした交通事業者に、割引した金額分を補助金として交付(補助上限額 通常販売額の1/2)



事業の詳細は、後日、こほう佐倉等をご確認ください

子ども食堂支援事業 (事業費95万円)

市内の子ども食堂などに、支援金と細菌検査費用を補助します。また、市内子ども食堂のネットワーク組織『～ごはんでつながる仲間たち～さくらあったか食堂ネットワーク』に、活動周知用のチラシ作成費用や冷蔵庫を購入する経費について補助します。

『さくらあったか食堂ネットワーク』の事務局は、佐倉市社会福祉協議会内に設置されています

市ホームページ 子ども食堂(地域食堂)



施設の感染症対策各種事業 -洋式便器への改修など-



Table with 3 columns: 事業名, 事業費, 対象施設. Rows include 学童保育所等施設整備事業, 保健センター整備事業, スポーツ施設整備事業, 公衆トイレ洋式化事業.



議案に対する会派等の意見

ついでに

令和3年度佐倉市一般会計歳入歳出決算に賛成

まず、令和3年度佐倉市一般会計歳入歳出決算については、健全な財政運営を確保し、前年度に引き続き、経常収支比率が改善し、実質単年度収支が黒字となったことを高く評価する。

歳出では、コロナ禍が続く中、全庁を挙げて取り組んだワクチン接種事業や、小中学校・福祉施設等における感染症対策、住民税非課税世帯等に対する給付金の支給といった国から示された事業に加え、市内消費喚起事業や中小企業エール事業、国策の子育て世帯臨時特別給付金支給事業では、その対象をすべての子どもへ拡大するなど、地域の実情に照らした独自事業を含め、遅滞なく執行されたものと考える。

また、市民の安全・安心のための「交通安全施設整備事業」、佐倉ふるさと広場の拡張に係る基本設計や市場ニーズの分析等を行った「観光拠点整備事業」、令和5年3月の開館に向け準備が進められた「(仮称)佐倉図書館等新町活性化複合施設整備事業」など、将来に向けた事業も着実に実施されていることから、令和3年度佐倉市一般会計歳入歳出決算を認定すべきものと判断した。

なお、審査の中で、次の4点を要望した。

1点目、介護分野における慢性的な人材不足解消に向け、介護職員初任者研修を継続するとともに、今後は、就労が継続できなかつた理由等の把握に努め、さらなる支援に活かしていきたい。

2点目、多文化共生社会の実現に向け、外国人住民への支援、特に教育現場における、きめ細かな対応が重要と考える。日本語適応指導の充実を図り、保護者の学校理解につながる対応にも努めていきたい。

3点目、DXの推進は、住民サービス向上のために必須な施策であり、選ばれたまちとなるためにも、全庁を挙げて取り組んでいきたい。併せて、行政のデジタル化推進に必要な不可欠なマイナンバーカードの取得率向上にも努めていきたい。

4点目、市民の信頼喪失や多額の損害を与えかねないリスクが、日頃の事務処理に潜んでいることを職員一人一人に改めて認識させるとともに、法令等に係る知見向上、市職員としての使命感や働きがいが高めるため、必要十分な研修を実施し、事務処理誤りの防止に努めていきたい。

議案第16号 住居手当の見直しに関する条例案に賛成

激甚化、頻発化している自然災害や、首都圏直下型の地震発生が懸念される現在、自治体には、必要十分な「もしもの備え」が求め

られている。職員の避難所等への参集を容易なものとし、災害対応体制を迅速に整えるため、職員の市内居住を促進しようとする今回の提案は、必要な施策であると考える。

また、現状の予算の範囲内で対応できる設計となっていること、さらには、間接的な効果として、税収増や経済効果も期待できることから、賛成できるものと判断した。

公明党

議案第16号「一般職職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定」

住居手当制度改正については、職員の市内居住の促進を図るための施策で、激甚化が顕著な気象災害や巨大地震等への対応に際し、職員の迅速な参集で早急な対応が何よりも重要で、初動のスピードいかに被害の大小を左右し、市民の生命を守るため有意義である。

住居手当総額は、現状の範囲内で設計され、副次的効果として、税収増加や経済効果、職員の地域社会に対する積極的な貢献へ期待する点等も評価できる。

なお、重要な点は、総務常任委員長報告にもあるが、条例の施行後一定期間が経過した後には、職員の市内居住の促進が実際に図られているのか等、適切な効果の検証と評価を行うこと。

総括して意見を述べる
市民が将来にわたり希望

と安堵と誇りをもてる佐倉市へ邁進するためには、最大の課題である人口減少を食い止めねば明るい将来はない。生産年齢人口の確保や若者世代の流入、将来を担う子育て世代の増加に向けた施策が待たなしで求められている。常に現状を把握しながら、事態に的確でスピーディーな対応が図られるよう強く要望する。

自由民主党

令和3年度一般会計歳入歳出決算の認定に賛成

公共施設等の管理運営体制・仕組みの最適化、庁用車の稼働効率化・EV化への転換を期待する。また、子ども医療費拡充などを強く要望し、子育て世代が住みやすい環境や制度に取り組み、人口増加・定住化に注力することを求める。

一般会計補正予算に賛成
光熱水費の高騰は今後も懸念されるので、省エネ・再エネ・自主発電等の導入への転換に期待する。

一般職職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定に条件付きで賛成
職員の住居手当を復活させるという観点ではなく、職員の市内居住をいかに議会として推進していくかという視点で考える。特別な予算措置を行ってはいないが、恒久的なものではなく、一定期間後に効果の検証が見込めない場合、廃止を含めた見直しを絶対条件であることを申し添える。

議案第20号・第21号に賛成
休日夜間歯科診療廃止や小児初期急病診療時間の短縮で混乱が起きないように案内を行って頂きたい。

また、廃止や縮小後の剰余金は、同じ項の中で財源不足により未実施である子ども医療費拡充に充てるなど予算化を促す。

市民ネットワーク

反対する主な理由
議案1号①旧統一教会の行事で市長が挨拶。過去分も含めて調査・公表すべき。

②コロナ対策が遅く、独自施策がない。自療養者に対する対策が急務。③コロナ交付金を事務手続きミスで国に返還。ずさんな事務処理で市民のための財源が失われた。④新佐倉図書館等新町活性化複合施設整備総事業費約38億円。見直しせず建設完了。⑤ふるさと広場(仮)西部自然公園整備の用地買収が先行。市民の意見を聞き、計画策定を。⑥岩富・寺崎線延長や飯野II・31号線の道路建設を凍結し、生活道路・街路樹整備に振り向けるべき。

議案5号介護保険料のコロナ禍での値上げは回避すべき。議案10号マイナンバー関連経費。明神橋工事は、専決処分なく議会に諮るべき。議案16号職員の住居手当の減額・新設は、職員の分断を生み、迅速な災害対応に資するか疑問。

議案第20号・第21号に賛成
休日夜間歯科診療廃止や小児初期急病診療時間の短縮で混乱が起きないように案内を行って頂きたい。

ひまわり会と市民オンブズマン

県内佐倉市のみ持ち家手当月額3千円新設は反対

条例改正案は、職員の市内居住促進を目的に、市外賃貸家賃補助を減額(月額上限2万8千円→2万円)し、市内持ち家居住者に3千円支給を新設するもの。災害時における職員の迅速な参集を目的と説明。

しかし、その促進効果は見込めず、持ち家手当(職員優遇)復活は市民の賛同を得られないと判断し反対。市外居住職員も佐倉市に住みたい街作りを優先すべき。市長・市議選挙の公費負担限度額引き上げ案に反対

約2〜3%の引き上げ案に不要と考え反対した。

日本共産党

放射能汚染の不安を無視か
市は市内発生した土を公園に仮置きする際も線量検査による安全性の確認を必要とする。しかし新佐倉図書館建設で地下掘削の埋め戻しに前田建設工業提案の土を放射線量検査もせず使用許可した。前田建設工業は福島県楢葉町で大量の除染作業による土を抱えていること、除染土の違法投棄問題があることを多くの市民が知り不安を隠せない。除染土は道路建設等で国は使用許可。しかし、子育て施設併設の図書館建設で線量検査もせずこれを受入れたのは、市民への背信であり許される行為ではない。

会派に属さない議員

議席3番
市内在住職員の持ち家手当を含む住居手当の改正条例案に反対。一度廃止した持ち家手当を、国の廃止通達に反して復活させる説得的な理由はない。市内居住促進を目的として、佐倉市の倍額の手当を継続した他市が効果無として廃止した経緯すら、市は調べていない。

議席11番
議案16号に反対、対する修正動議に賛成。居住地は人それぞれ選択する理由がある。月3千円で市内に持家を購入するか疑問。災害時の迅速な対応は佐倉市だけ特別ではない。経済効果を言うならば、佐倉市が選ばれる政策を、佐倉市民のために投資すべきと考える。

議席12番
コロナ禍で市民の生活が疲弊している中、市内在住の職員に、持ち家住宅補助手当を支給する議案が多数決で可決された。市民への配慮不足であり、本末転倒である。議案16号に反対する。

※議席番号と議員名の確認は6ページの議案賛否一覧をご覧ください。

委員会報告

※議案は市長提出議案 ○委員長 ○副委員長

総務常任委員会

開催日：令和4年9月12日／場所：第三委員会室

《審査結果》

議案10	議案11	議案14	議案15
可決	可決	可決	可決
議案16	議案17	議案18	議案19
可決	可決	可決	可決
議案23			
可決			

議案9件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

- ・職員の市内居住促進を目的とした市内在住職員の持ち家に対する住居手当については、その趣旨は理解できるものの、期待する効果が得られないのであれば、見直しや廃止も検討すべきである。

あくまで時限的な制度と捉えた上での確に効果測定を行い、不断の検証に努めていただきたい。

〔委員〕◎久野妙子、○徳永由美子、宇田実生子、稲田敏昭、玉城清剛、敷根文裕、中村孝治



文教福祉常任委員会

開催日：令和4年9月13日／場所：第三委員会室

《審査結果》

議案10	議案13	議案20	議案21
可決	可決	可決	可決

議案4件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

- ・佐倉市小児初期急病診療所の診察時間の短縮については、小児科医の負担増を理由とする医師会からの申し出によるものであり、見直しはやむを得ない。しかしながら、救急医療体制は市民の安心を支える重要な役割を果たしていることから、子ども医療電話相談事業の周知徹底に努め、診察時間の短縮後もこれまで同様に市民の安心安全を堅持していただきたい。

〔委員〕◎平野裕子、○齋藤明美、川口絵未、高橋とみお、石井秀明、押木孝和、藤崎良次



経済環境常任委員会

開催日：令和4年9月14日／場所：第三委員会室

《審査結果》

議案10	議案12
可決	可決

議案2件について審査し、その結果は左表のとおりです。

〔委員〕◎岡村芳樹、○岡野 敦、松島 梢、齋藤寛之、高木大輔、萩原陽子、櫻井道明



建設常任委員会

開催日：令和4年8月29日、9月15日／場所：第三委員会室

《審査結果》

議案10	議案22
可決	可決

議案2件について審査し、その結果は左表のとおりです。

〔委員〕◎爲田 浩、○密本成章、鍋田達子、木崎俊行、山本英司、五十嵐智美、石渡康郎



議案をPick up!

各常任委員会所管の審査を経て、最終日の本会議における委員長報告の際、付帯意見のあった議案を取り上げます。

総務 議案第16号 一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
職員の定年引上げに伴う給与水準等及び職員の市内居住促進のための住居手当関連

- ①職員の定年の引上げ等に関連し、60歳に達した職員の給与水準について定めるとともに、定年前再任用短時間勤務職員等への給与の支給に必要な規定の整備を行おうとするもの。
- ②職員の市内への居住を促進し、もって災害時における職員の迅速な参集を可能とするため、市外居住者の賃貸に係る住居手当の上限額を引き下げ、市内居住者の住居手当支給対象となる職員の追加を行おうとするもの。

住居区分	居住地	住居手当額	
		現行	改正後
賃貸	市内	上限28,000円	上限28,000円
	市外	上限28,000円	上限24,000円 上限20,000円
持ち家	市内	なし	3,000円
	市外	なし	なし

文教福祉 議案第21号 佐倉市小児初期急病診療所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
小児初期急病診療所の診察時間の短縮

印旛市郡医師会から、医師の負担等を理由とする佐倉市(印旛市郡)小児初期急病診療所の診察時間の短縮を求める申し出があったことを踏まえ、これを短縮するもの。

〔変更点〕
令和5年4月1日から、診察時間の終了時刻を「翌日午前6時」から「午後11時」に変更

〔今後〕
午後11時以降は「こども急病電話相談#8000番」※を活用

※夜間に、急に子どもの具合が悪くなったとき、看護師や小児科医が電話でアドバイスします。(毎日 午後7時～翌午前6時) 運営は千葉県医師会



マチイロ
スマートフォン用アプリで佐倉市議会だよりをご覧いただけます。最新号が発行されると、アプリを通じてお知らせします。

11月定例会の予定

- ◆議会運営委員会 11月22日(火)
 - ◆招集日 11月28日(月)午後1時から
 - ◆一般質問 12月5日(月)～8日(木)
 - ◆常任委員会 12月12日(月)～15日(木)
 - ◆最終日 12月19日(月)午後1時から
- ☆日程は変更になることもありますので、詳細につきましては議会事務局までお問い合わせください。
議会事務局 TEL043-484-6254

- 本会議(招集日・一般質問・最終日)の映像—
- インターネット中継：開催時間中にライブ中継するほか、開催日のおおむね1週間後から録画中継を配信
- CATV放映：開催日翌日午後5時30分から放送【地上デジタル10ch、デジタルCATV301ch】

議会百景

経済が低迷し、事務処理誤りにより5億3千万円を国に返還した佐倉市が、職員手当の増設を含む条例改定をするならば、相応の準備、計画と、それらに裏付けられた目標値の設定が最低限必要です。今議会では、委員会審議等でその点を明らかにしたうえで可決したか、議会だよりで議論を十分伝える事ができたか、検証が必要と考えます。
(広報公聴委員 高橋とみお)

8月本会議最終日、総務常任委員長報告に続き少数意見の報告を行い、6名の議員から質疑を受けました。佐倉市議会基本条例にある「自由闊達な討議」がなされたと考えます。一方、同条例にある「積極的な情報公開」に有効な常任委員会等のインターネット中継は実現できずより「開かれた市議会」を目指して引き続き努力をいたします。
(広報公聴委員 宇田実生子)

現在4年目。議会や議員活動を「もっと知ってもらいたい」との思いがさらに強くなりました。「佐倉市議会だより」は紙媒体、ホームページの他、スマートフォン用アプリ「マチイロ」等から、いつでもどこでも簡単にご覧いただくことができます。市民の皆さんに身近で使い勝手の良い情報ツールとなりますようこれからも改善してまいります。
(広報公聴委員 鍋田達子)